



弦楽器におけるフィンガリングの定義と共に学習する トライアドエクササイズ「基礎力強化編」

この度は「トライアドエクササイズ 基礎力強化編」をご購入いただき誠にありがとうございます。

本書はギターリストを中心とする弦楽器奏者のためのトライアドの練習のためのガイドブックとなっています。

ポジションプレイという制約を取り入れギターの指板上にて様々な単位の音型を効率よく学習していただけるように構成されています。

学習の順序

トライアドではメジャーの把握から始めていき、3度音を半音下げたマイナーの学習に取り組んでいただくように構成されています。

* NOTE : メジャーとマイナーではポジショニングの定義が変わるので単純に3度音を半音下げるだけではありません。

さらにはマイナートライアドの5度音を半音下げたディミニッシュトライアドや、メジャートライアドの5度音を半音上げたオーグメントトライアドにトライしていただくことでトライアドの構成音であるRoot、3度、5度の度数の理解につながります。

トライアドの度数把握は後々の学習に大きく関わりますので、まずはトライアドの理解構築に時間をかけて丁寧な学習を進めていただければと思います。

オプションでSUS2トライアドやSUS4トライアドのパターンも掲載されています。

特殊なトライアドとなりますが、独自の演出に特化した使い勝手の良いトライアドです。

エクササイズの開発

独自のエクササイズを開発していただく事でより一層の理解力を得ることが可能です。

リズムを工夫したり曲のコードプロGREッションを利用したりあるケーデンスを利用したりと様々な側面からのアプローチを試みましょう。

本書の最後にエクササイズ開発のヒントを掲載しておりますので是非ご参考になさってください。

動画ファイルについて

付属するデモ演奏の動画ファイルはYouTubeにて限定公開する形での公開となっております。

タイトルをタップしていただくことでご観覧が可能です。

デモ演奏の動画ファイルは無断でのシェアを禁止させていただいております。

シェアなどが発覚した際は動画ファイルの公開を取りやめさせていただきますのでご了承ください。

ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

デモ演奏動画一覧

全編

[メジャートライアドエクササイズ](#)

[マイナートライアドエクササイズ](#)

[ディミニッシュトライアドエクササイズ](#)

[オーグメントトライアドエクササイズ](#)

[ダブル垂直メジャートライアドエクササイズ](#)

[オープンメジャートライアドエクササイズ](#)

[オープンマイナートライアドエクササイズ](#)

[SUS2トライアドエクササイズ](#)

[SUS4トライアドエクササイズ](#)

[オープンSUS2トライアドエクササイズ](#)

[オープンSUS4トライアドエクササイズ](#)

[ケーデンスエクササイズ](#)

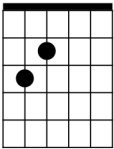
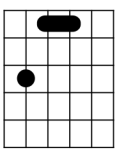
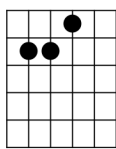
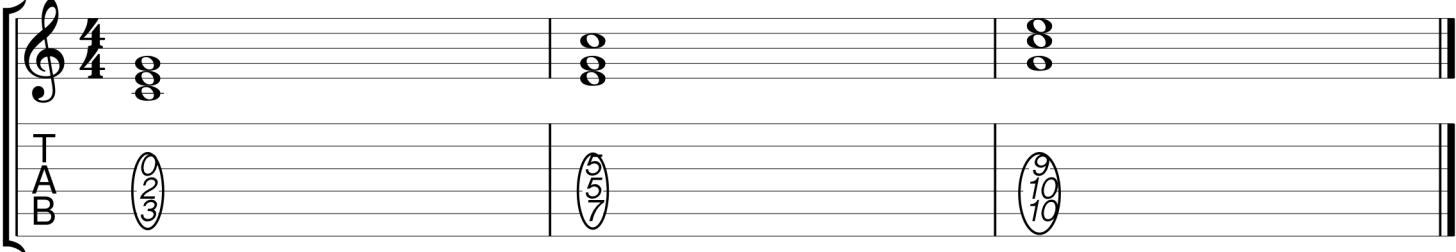
1. トライアド基礎

トライアドの転回形

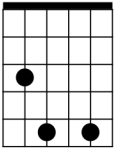
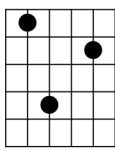
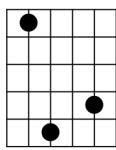
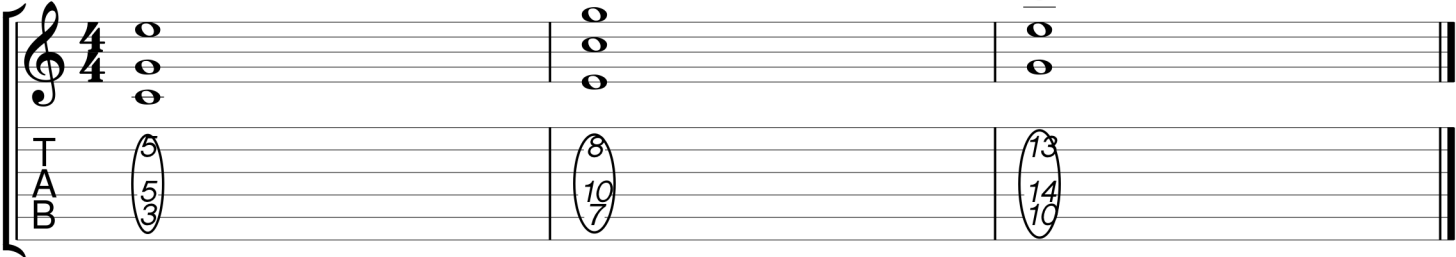
クローズトライアドもオープントライアドも基本的には基本形、第一転回形、第二転回形の計3つの転回形を捻出することが可能です。

基本形はトライアドのルートをベースにした形、3度音をベースノートに転回したのを第一転回形、5度音をベースノートにしたものを第二転回形と呼びます。

クローズトライアド転回形一覧

基本形	第一転回形	第二転回形
C X O X X 	C/E X X X 5 	C/G X X X 9 
		

オープントライアド転回形一覧

基本形	第一転回形	第二転回形
C(Open) X X X 	C/E(Open) X X X 7 	C/G(Open) X X X 10 
		

この3つの転回形に本書ではギターの構造に特化したエクササイズを取り入れていきます。

右と左へ進むフォーミングの導入

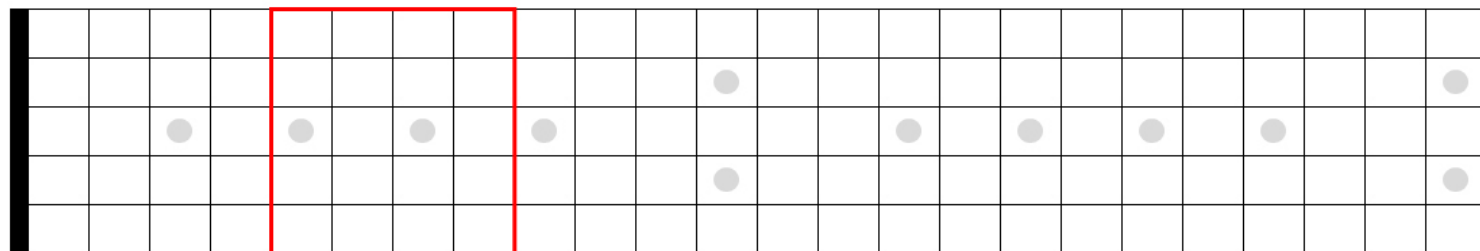
横に長いギターという楽器の構造上、フレージングの始点となる音から同じ音のフレーズやスケール/トライアドやコードアルペジオの運指を垂直(L)と水平(R)とに振り分けて考え出すことが可能です。

LとRの運指の法則は、演奏するポジションに制約を加えたポジションプレイでギターなどの弦楽器を練習をする際には必ず必要な概念となります。

ポジションプレイ

LとRの運指の法則は、演奏するポジションに制約を加えたポジションプレイで練習をする際には大変重要な概念となります。

ポジションプレイ (5ポジションの定義)



ポジションプレイは人差し指が置かれたフレットをポジションの始点とし、人差し指から小指までを順番にフレットへ配列することによって定義されます。

上記の図のプレイエリアでは人差し指が5フレットに、中指が6フレットに、薬指が7フレットに、小指が8フレットに配列されます。

ポジションプレイのルールを用いて、ギターの指板上でのプレイエリアに制限を加えていき、トライアドやコードアルペジオ/スケールなどを練習される事により大変有効的な練習が可能となります。

ポジションプレイでの演奏例

Cm7 F7

P

T A B

6 5 5 8 (8) 5 8 6 7 5 8 6 7 9 7 6 8

B $\flat$ maj7 E $\flat$ maj7 H 3 Am7 $\flat$ 5

P H 3

7 6 8 5 6 8 6 5 8 6 8 7 8 5 8 6 7 5 (5)

練習におけるピッキングについて

学習初期のピッキングはオルタネイト(ダウンとアップの交互)を基本とし、譜例にある左手の運指の指番号にも注意しながら練習するようにしましょう。

オルタネイトピッキング以外のピッキングパターンでもトライアドエクササイズの実習が可能です。変化系ピッキングを採用しての実習に関しては オープントライアドのセクションにて解説しております。

セーハの排除

左手の運指ではセーハの動きがこないようにエクササイズが構成されています。

トライアドの可能性を最大限に活用するには、セーハによるトライアドの運指を採用しないようにする必要があります。

特殊な運指となりますが、ぜひ譜例の通りに演奏練習なさってみてください。

それでは基本となるメジャートライアドの学習から始めていきましょう。

メジャートライアドの練習

メジャートライアド 基本形 Rフォーム

基本形

A

メジャートライアド 基本形 Lフォーム

基本形

A

オーグメントトライアドの練習

オーグメントトライアド 基本形 Rフォーム

基本形
Aug

オーグメントトライアド 基本形 Lフォーム

基本形
Aug

オーグメントトライアドの活用例

オーグメントトライアドの音楽的な活用例

オーグメントトライアドはメロディックマイナースケールを想定するラインやホールトーンスケールを想定するラインなどの形成に長けたトライアドです。

メロディックマイナースケールの表現

例えば、メロディックマイナースケールの想定は対象とするマイナーの短3度音から始まるオーグメントトライアドを積み上げることで形成が可能となります。

オーグメントトライアドの活用例 「メロディックマイナースケール」

Material Triads

Cm	E $\flat$ aug
xxx x xx	
5	4

C Melodic Minor

Cm	Cm	Cm	E $\flat$ aug
xxx	xxx	xxx	x xx
5	5	5	4

TAB (3 6 8) (4 5 6) 8 5 6 8 5 7 4 5

ホールトーンスケールの表現

ホールトーンスケールは全音関係にあるオーグメントトライアドを積み上げることで形成することが可能となります。

オーグメントトライアドの活用例「ホールトーンスケール」

Material Triads C Whole Tone Scale

Caug Daug Caug Daug Caug Daug Caug Daug

xxx xxx xxx xxx xxx xxx xxx xxx

The diagram illustrates the construction of the C Whole Tone Scale using augmented and diminished triads. It includes fretboard diagrams for each triad, a musical staff with notes, and a guitar tablature.

Material Triads:

- Caug: 6, 7, 8 (xxx)
- Daug: 8, 9, 10 (xxx)
- Caug: 6, 7, 8 (xxx)
- Daug: 8, 9, 10 (xxx)
- Caug: 6, 7, 8 (xxx)
- Daug: 8, 9, 10 (xxx)
- Caug: 6, 7, 8 (xxx)
- Daug: 8, 9, 10 (xxx)

C Whole Tone Scale:

Notes: C, D, E, F, G, A, B, C

Tablature: 6, 7, 8, 9, 10, 7, 6, 8

スケールを想定する事なく色彩を帯びたミニマルなラインのアイデアを想定することが可能です。

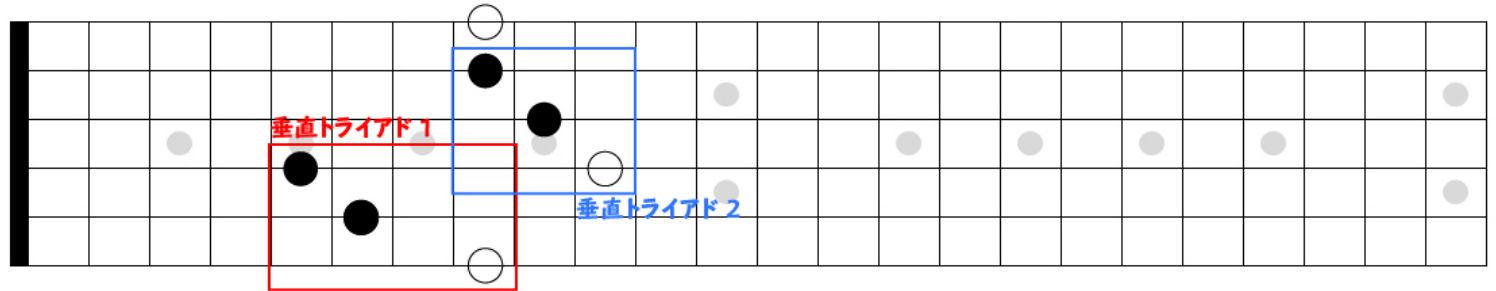
逆をいえばオーグメントトライアドの活用は色彩を追加する要素として使われることが多く、コードチェイスをするアドリブ演奏などのシーンでは使われることは少ないと思います。

5. さらなるフォーミングの考察

2つの連続した垂直トライアド

ここでは*垂直トライアドフォームを2回続けて演奏する可能性について考えていきたいと思います。連続して垂直トライアドを演奏する概念をここでは「**ダブル垂直**」と呼んでいく事にしたいと思います。

ダブル垂直トライアドの例



*Note : トライアドのエクササイズ内で分岐となる音がベースになった際(メジャーでは3度音に対する5度音、マイナーではRootに対する $\flat$ 3度音)は2つの垂直トライアドを演奏してきましたがその概念とは別に意識的に垂直トライアドを2回使用する方法についてここでは述べていきたいと思います。

ダブル垂直にレフトとライトの方向性を定義づける事によってフィンガリングパターンを編み出したり、ギターの指板上での演奏をスムーズにすることができます。

音型のスタートを同一弦上にするか否か

ダブル垂直のレフトフォームとライトフォームの分岐となる定義としては、低音弦側(6～4弦)にて演奏されたトライアドを高音弦側(3～1弦)にて演奏するか、低音弦側にて演奏された4弦のまま4～2弦にてトライアドを演奏するかによって決まります。

低音弦側(6～4弦)にて演奏されたトライアドを高音弦側(3～1弦)にて演奏するパターンをレフトフォーム(左進行)とし、低音弦側にて演奏された4弦のまま4～2弦にてトライアドを演奏するパターンをライトフォーム(右進行)としていきます。

この場合メジャー系コードの水平と垂直の定義(3度音に対する5度音)とマイナー系コードの水平と垂直の定義(Rootに対する $\flat$ 3度音)は無視される形となります。

これによりダブル垂直の方向性によるフィンガリングのカテゴライズが可能となります。

オープントライアド

オープントライアドの定義

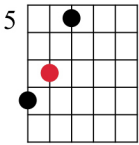
オープントライアドはクローズトライアド(オクターブ内で成立しているトライアド)の中心の音を1オクターブ上げるもしくは下げる転回によってオクターブより広い音域でトライアドが構成されたトライアドの事を指します。

クローズトライアドからオープントライアドへの転回例

クローズトライアド

C

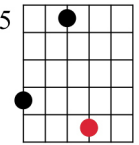
XXX

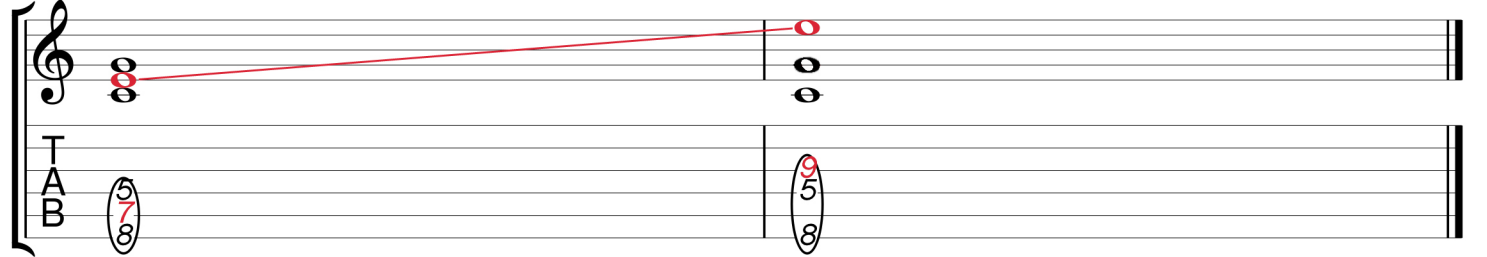


オープントライアド

C

X XX



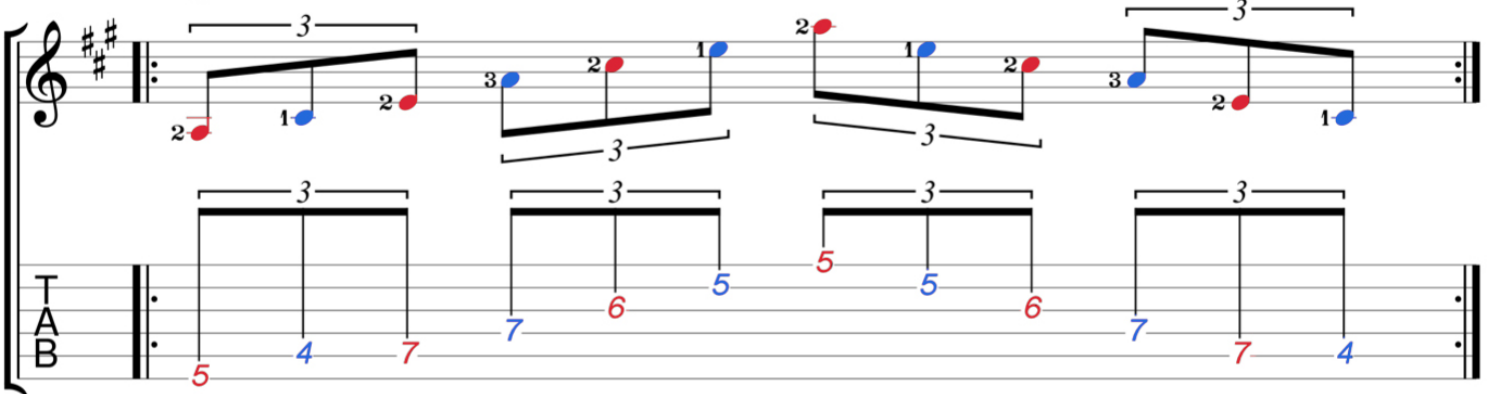


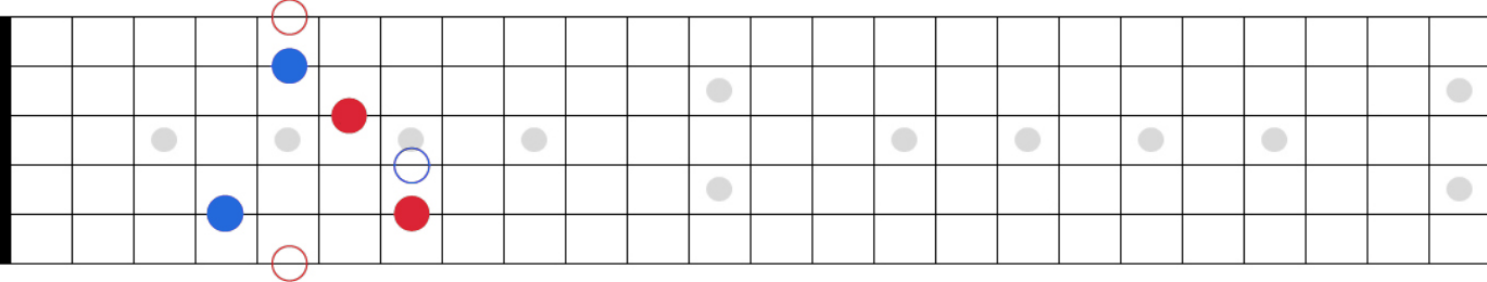
また、これまで取り組んできたクローズトライアドエクササイズを1音ずつスキップして演奏することでオープントライアドを形成することが可能です。

トライアドエクササイズからオープントライアドの採掘例

基本形

A





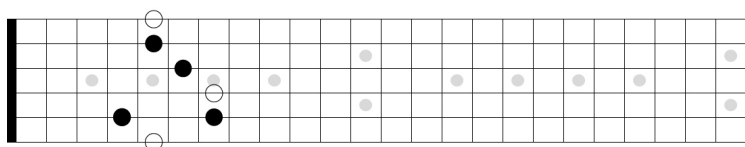
オープントライアドにおける3種類の演奏フォーム

オープントライアドは3種類の演奏フォームを割り出すことが可能で、これまで学習してきたクローズトライアドのレフトフォームとライトフォーム、そしてダブル垂直フォームから派生すると考えることが可能です。

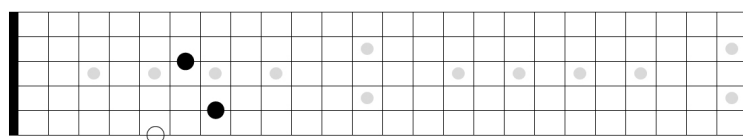
例えば、Aメジャートライアドを例に3つのフォームを確認してみましょう。

基本形 ライトフォームから派生するオープンメジャートライアド

オリジナル

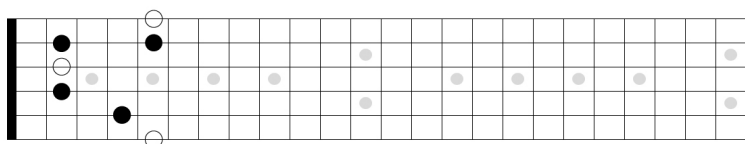


オープントライアド

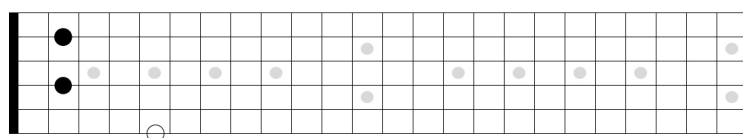


基本形 レフトフォームから派生するオープンメジャートライアド

オリジナル

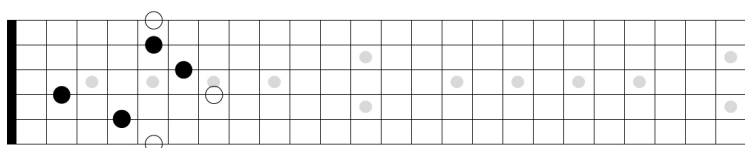


オープントライアド

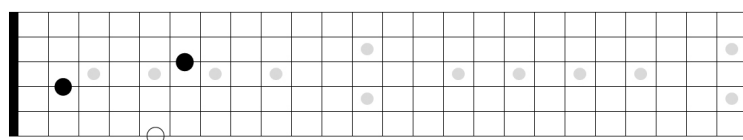


基本形 ダブル垂直ライトフォームから派生するオープンメジャートライアド

オリジナル



オープントライアド



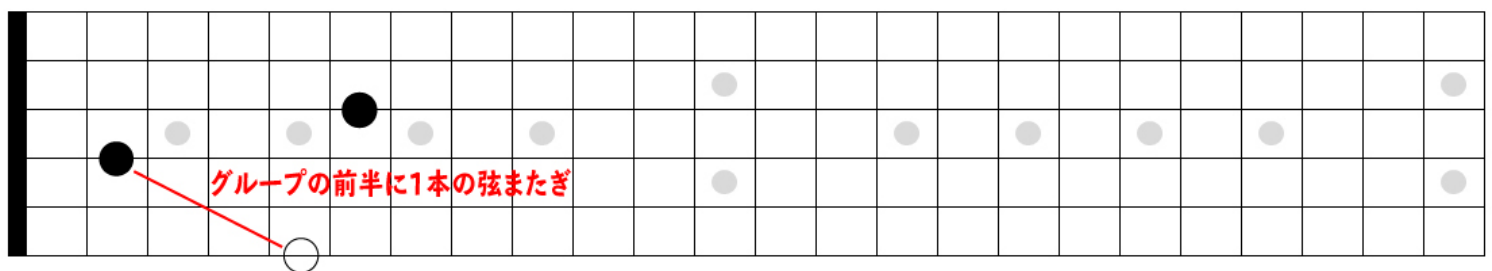
弦の跳躍からみるオープントライアドの分類

3種類のオープントライアドフォームは「弦をどのように飛ばして演奏するか？」によって定義することも可能です。

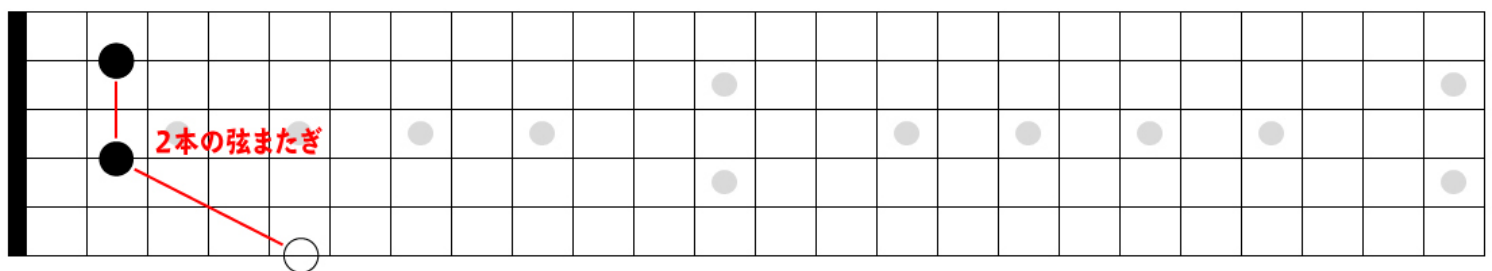
オープンメジャートライアド 基本形 フォーム1



オープンメジャートライアド 基本形 フォーム2



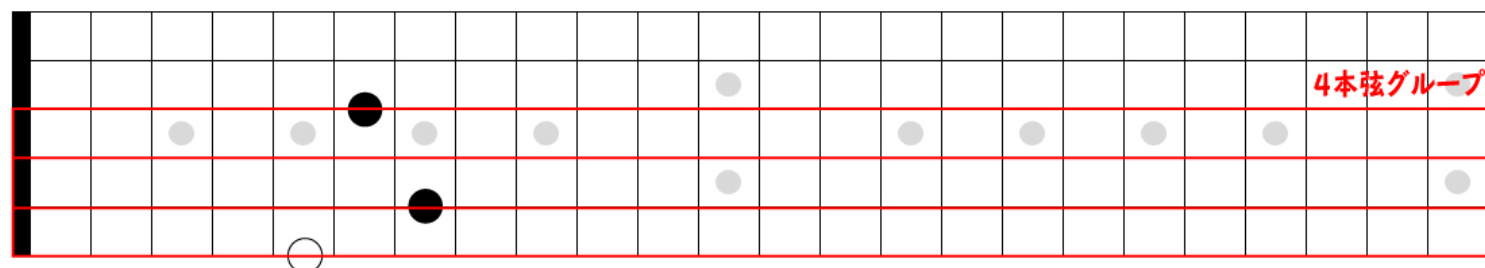
オープンメジャートライアド 基本形 フォーム3



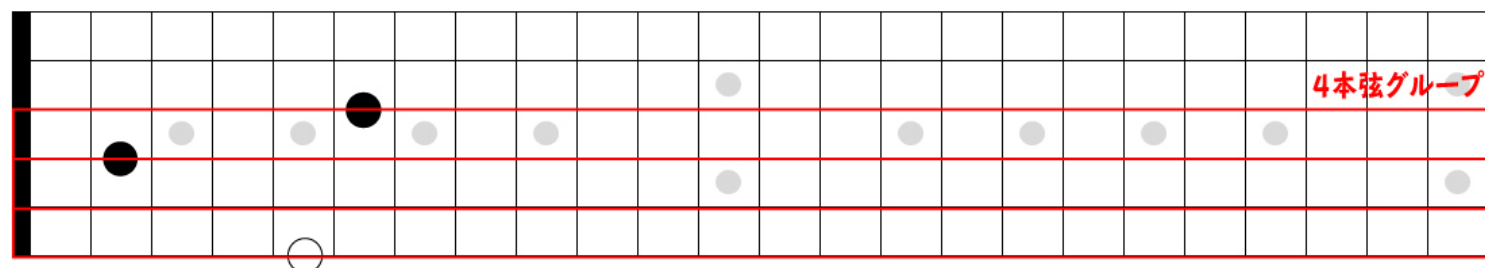
オープントライアドの弦のレンジ

弦の跳躍をさらに観察をすると、オープントライアドの音型は4本～5本の弦グループで演奏されることがわかります。

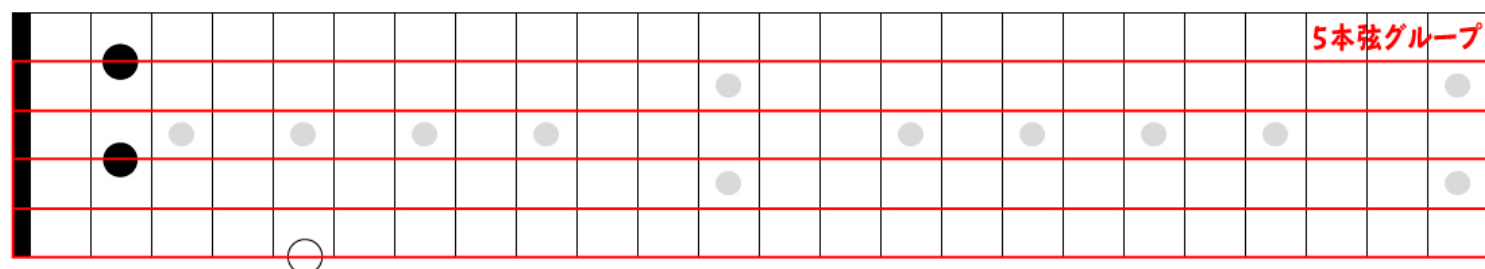
オープンメジャートライアド 基本形 フォーム1



オープンメジャートライアド 基本形 フォーム2



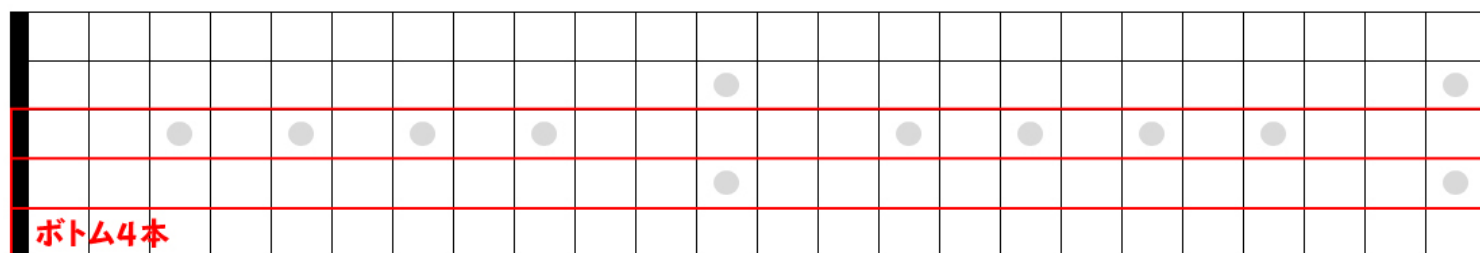
オープンメジャートライアド 基本形 フォーム3



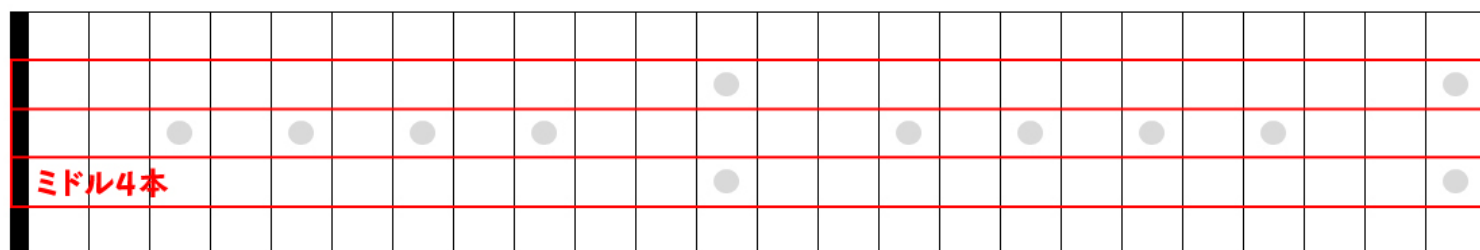
弦のレンジの可能性

密接した4本弦グループは6本弦のギターの指板上では3種類のグループに分類することができます。

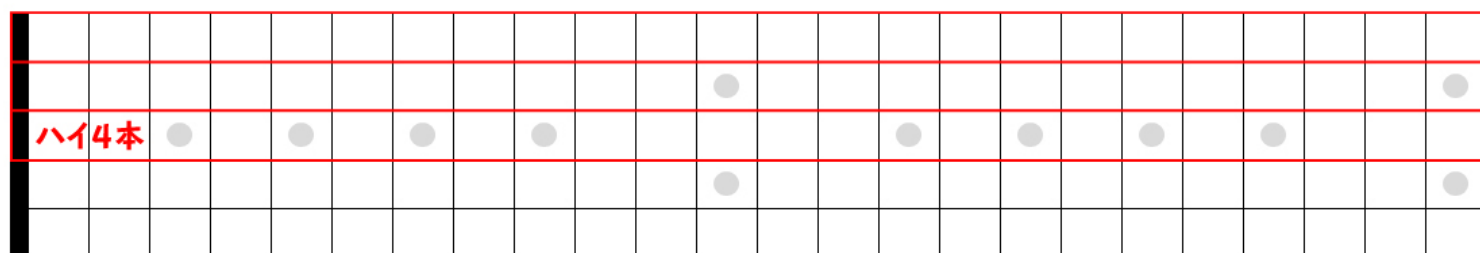
隣接する4本弦のグループ 1



隣接する4本弦のグループ 2

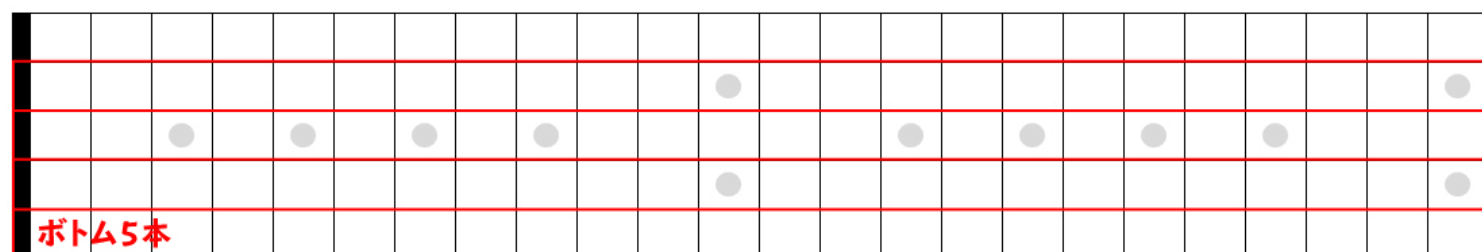


隣接する4本弦のグループ 3

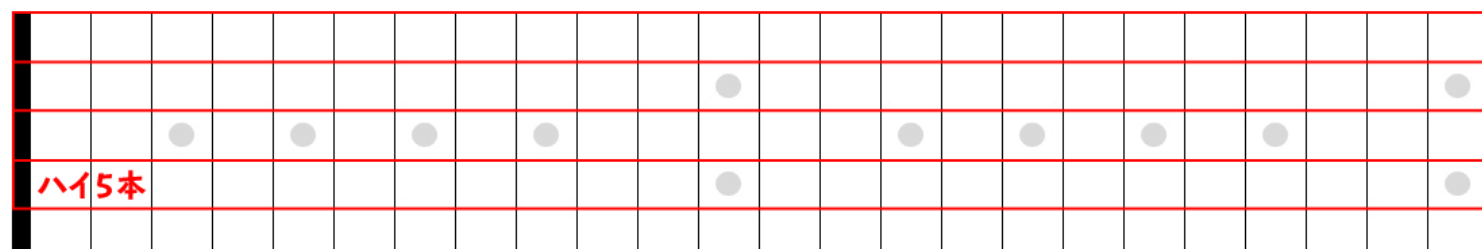


また密接した5本弦グループは6本弦のギターの指板上で2種類のグループに分類することができます。

隣接する5本弦のグループ 1



隣接する5本弦のグループ 2



それではオープントライアドを理解するためのトレーニングに取り組んでいきましょう。

SUSトライアド

SUSトライアドとは

SUSトライアドはRoot - 2度 - 5度やRoot - 4度 - 5度などの3音により構成されるトライアドのことを指します。

SUS2トライアド

Root 2nd 5th

Asus2
XXX

Treble clef staff: Root (C4), 2nd (D4), 5th (G4)

TAB: 5, 2, 2

Guitar fretboard diagram: 5th string, 5th fret; 4th string, 2nd fret; 3rd string, 2nd fret. 2nd, 1st, and 6th strings are muted (X).

SUS4トライアド

Root 4th 5th

Asus4
XXX

Treble clef staff: Root (C4), 4th (F4), 5th (G4)

TAB: 5, 5, 2

Guitar fretboard diagram: 5th string, 5th fret; 4th string, 5th fret; 3rd string, 2nd fret. 2nd, 1st, and 6th strings are muted (X).

SUSトライアドの音程と特性

3度音を2度音へ引き下げたり、3度音を4度音へ引き上げたりする解釈となり、3度音程を持つことも無くなります。その代わりに2度音程や4度音程を持つようになります。

メジャートライアドとSUS2トライアドのインターバルの比較

This diagram compares a Major triad (A) and a Sus2 triad (Asus2). Above the musical notation are guitar fretboard diagrams for both chords. The Major triad (A) has notes Root, 3rd, and 5th. The Sus2 triad (Asus2) has notes Root, 2nd, and 5th. The musical notation shows the intervals: Major has a long 3rd (長3度) and a short 3rd (短3度), while Sus2 has a long 2nd (長2度) and a perfect 4th (完全4度). The TAB notation shows the fingerings: Major (5, 4, 2) and Sus2 (5, 2, 2).

メジャートライアドとSUS4トライアドのインターバルの比較

This diagram compares a Major triad (A) and a Sus4 triad (Asus4). Above the musical notation are guitar fretboard diagrams for both chords. The Major triad (A) has notes Root, 3rd, and 5th. The Sus4 triad (Asus4) has notes Root, 4th, and 5th. The musical notation shows the intervals: Major has a long 3rd (長3度) and a short 3rd (短3度), while Sus4 has a perfect 4th (完全4度) and a long 2nd (長2度). The TAB notation shows the fingerings: Major (5, 4, 2) and Sus4 (5, 5, 2).

そのためSUSトライアドはメジャーもマイナーも無い「中性的」な機能を持つコードとなります。

SUSトライアドの活用例

SUSトライアドのペンタトニックスケールでの活用

SUSトライアドを組み合わせる事によってペンタトニックスケールを表現することが可能です。
メジャーペンタトニックスケールの表現にはトニックとなるSUS2トライアドとその全音上のトニックのSUS2トライアドを組み合わせます。

SUS2トライアドの活用例 「メジャーペンタトニックスケール」

Material Triads

Csus2 XXX
5 ● ●
●

Dsus2 XXX
7 ● ●
●

C Major Pentatonic Scale

Csus2 XXX
5 ● ● ●

Csus2 XXX
5 ● ● ●

Dsus2 XXX
7 ● ● ●

Csus2 XXX
5 ● ● ●

Dsus2 XXX
7 ● ● ●

マイナーペンタトニックスケールの表現にはトニックとなるSUS4トライアドとその全音下のトニックのSUS4トライアドを組み合わせます。

SUS4トライアドの活用例 「マイナーペンタトニックスケール」

Material Triads

Csus4 XXX
5 ● ● ●

B $\flat$ sus4 XXX
3 ● ● ●

C Minor Pentatonic Scale

Csus4 XXX
5 ● ● ●

B $\flat$ sus4 XXX
3 ● ● ●

Csus4 XXX
5 ● ● ●

Csus4 XXX
5 ● ● ●

B $\flat$ sus4 (1st Inv) XXX
8 ● ● ●